

里庄町の偉人 小川郷太郎の 人生を紐解く

小川郷太郎先生
誕生之地

令和7年度 里庄町歴史講座

聴講
無料

申し込み
不要



小川郷太郎の人生 — グローバルな学びと政治への貢献 —

日時 令和7年 **6月23日** 月
13:30~14:30

場所 里庄総合文化ホール「フロイデ」大ホール
浅口郡里庄町里見 1107-2



講師：鎮西学院大学経済政策学科 教授 **吉野 浩司** 氏

講師プロフィール

1971年長崎生まれ。一橋大学社会学研究科博士後期課程修了。社会学博士。
2015年より、長崎県の鎮西学院大学現代社会学部で社会学を中心に教えている。専門は日本および世界の社会学の歴史、亡命知識人の社会学など。2020年ごろから、日本各地の図書館、資料館の調査を開始し、近代日本の社会学者、経済学者の掘り起こしを続けている。主な著書、編著に『意識と存在の社会学—P.A.ソローキンの統合主義の思想』『利他主義社会学の創造—P.A.ソローキン最後の挑戦』『高田保馬自伝「私の追憶」』など。

里庄町の偉人・小川郷太郎 (1876-1945)

村山菊蔵の子として生まれ、その後小川家の養子となり、小川郷太郎となる。
東京帝国大学を卒業後は京都帝国大学経済学部を迎えられ、財政学研究のためドイツ、オーストリアなどに留学し研究を重ねた。帰国後京都帝大で教鞭をとる一方で、衆議院議員に当選。大学を辞したあとは政治家として活躍し、「財政通の小川」と称された。大蔵政務次官や商工大臣、鉄道大臣を歴任。また、地元里庄駅の開設や産業経済の発展に寄与した。

旧里庄駅の様子



主催：里庄町教育委員会

問い合わせ先：里庄町教育委員会事務局 岡山県浅口郡里庄町里見1107-2 TEL.0865-64-7212